



「まだ」と「もう」

令和7年がスタートし、1ヶ月が経とうとしております。今年の雪は、どかっと降り積もっては融けてなくなり・・・を繰り返している状況で、今のところ学校生活には大きな支障をきたすことなく順調に進んでおります。

この時期になると「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」という言葉を耳にします。これは1～3月のどの月も月日が足早に過ぎてしまうことを例えた言葉です。この1月もすごく足早に感じ、3学期の残りの登校日は約30日間となりました。みなみっ子にはこの30日間を2つの気持ちで過ごして欲しいと思います。1つ目は「まだ30日もあるのだから、今まで達成できなかったことにもう一度チャレンジしてみよう」という気持ちです。もう1つは、「もう30日しかないのだから1日も無駄にしないで今までがんばって積み上げてきたものや継続してきたことを最後までやりきろう」という気持ちです。みなみっ子全員が4月に1つ上の学年で胸を張って新学期を迎えられるように、学校職員もこの2つの気持ち「まだ」と「もう」を意識しながら最後まで子どもたちを支援していきたいと思っております。

今年の節分は2月2日

季節の分かれ目には、立春、立夏、立秋、立冬があり2月3日は立春です。季節は「春夏秋冬」と書くように始まりの季節は「春」になります。立春は「春」がスタートする日なので、季節をもとにすると、立春の2月3日が新しい1年の始まる日となります。その前日が節分です。この節分の日「これから始まる新しい1年が、不幸や災いが無い1年になりますように」との願いを込めて、1年に1度、節分をこの時期に行うのです。『豆まき』の『豆』は『魔滅』とも書くことができ、鬼にぶつけて豆まきをすることで、邪鬼を追い払い、1年の無病息災を願う意味があるそうです。だれにでも、自分の直したい癖や習慣があるものです。なまけ鬼、いじわる鬼、わがまま鬼、おこりんぼ鬼、あきらめ鬼、・・・自分の中にいる悪い鬼を追い出し、福をたく

さん呼び寄せてすてきな1年となるようにしたいものですね。

2月末には通知表配付があります。1年間のお子様のがんばりと成長をお伝えし、家族の中でもいろいろと話題にしていいただければありがたいです。よろしくお願いします。



校 長 奥 山 徹